

温度センサーの使い方

温度センサーについて



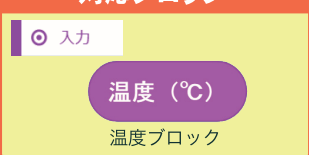
micro:bitで温度を測ることができます。測った温度を表示させたり、温度の変化を利用したプログラムを作ることができます。温度は【0～50℃】まで設定できます。



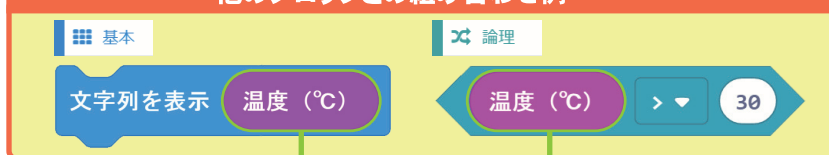
測る温度は、micro:bitの周りの温度ではなく、micro:bit内蔵のプロセッサ自体の温度になります。温度計の温度とはズレが生じます。

温度センサーに対応するブロック

対応ブロック



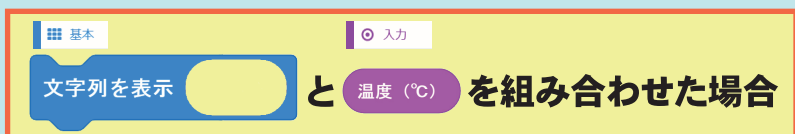
他のブロックとの組み合わせ例



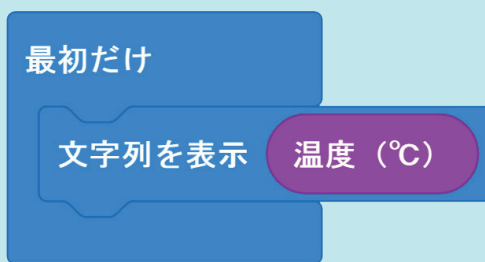
他のブロックの に組み込んで使います。

プログラミング

●micro:bitのLEDに、測った温度を表示する

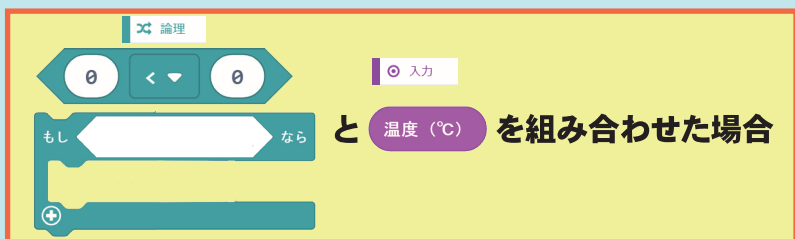


micro:bitのLEDに、測った温度を表示させることができます。表示される光の強さは、【0～50】℃の間の温度で表示されます。※2ケタ以上の数字は、右から左へ数字が流れるようにして表示されます。



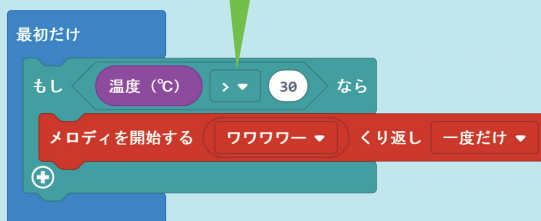
本体のリセットボタンを押すとまた温度が測れます。色々な場所で試してみましょう。

●温度が30度を超えた場合、本体のスピーカーから音を鳴らす



測った温度が、一定を超えた際に一度だけ音を鳴らすようにするプログラムです。温度の上昇を知らせる警報のようにプログラミングできます。右図のプログラムでは、温度が30℃以上の場合音が出るようにプログラムされています。

温度の数値、不等号を変更することで異なる条件にすることができます。



スピーカーから出す音は、ブロックを組んで好きなメロディに作り変えることができます。